（826）

AIって何？

先日、小学2年生の孫から「AIで何ができるようになるの？」と聞かれ、おじいちゃんはタジタジ。確かに、ビジネスでもAI（人工知能）活用が広がっていると聞きます。そこで娘に確認してみると「日常業務で普通にChatGPT使っている」とのこと。

「こりゃいかん」と思い、関連書籍を購入。シンギュラリティ（技術的特異点）を広めたレイ・カーツワイルの「シンギュラリティはより近く」と、知の巨人と称されるユヴァル・ノア・ハラリの「NEXUS 情報の人類史」を手に取りました。カーツワイルさんによれば、AIは「指数関数的な速度で賢く」なり、「人間の大脳新皮質とも接続して、知の領域が天文学的に広がる」という。つまり、未来はとてもハッピーという見通しです。

一方、ハラリさんの見方はややシビア。「AIは指数関数的なスピードで学習する」が、「人類の予想を超えた決定を下す可能性」がある。理性や感情を持たないAIは「ただアルゴリズムに従うだけ」であり、その決定次第では「人類に危機的状況をもたらす可能性」との主張です。

門外漢の私には、どちらが正しいとは言えませんが、少なくともAIに人間が従属する未来は、あまり望ましいものとは思えません。とはいえ、孫にどう説明すればいいのか。最大の難問が立ち上がりました。（大国主）